

8 平成 27 年度調査全体のまとめ

平成 27 年度調査では、更なるコスト削減方策やコストの前提条件の精査、需要予測モデル等の再構築等に取り組んだものの、B/C や事業採算性等に依然として課題が残されているほか、鉄軌道整備時の道路交通量への影響把握等の課題も新たに整理された。

平成 28 年度調査では、このような平成 27 年度調査結果を踏まえつつ、沖縄県とも情報交換等を行いながら、支線を含めたモデルルートや概算事業費、道路交通量への影響等について精査するとともに、制度面等に関して更に研究を行う。